

超高層マンション 林立問題考えよう

150〜200層もの超高層マンションが林立する武蔵小杉駅周辺（川崎市中原区）のまちづくりの是非を問う集会が8月3日、同区の市総合自治会館で開かれる。地元の住民団体「小杉・丸子まちづくりの会」と「小杉の再開発これでもいいの会」の共催。午

武蔵小杉駅周辺

後6時半から。

武蔵小杉では、2棟からなる180層マンションの建設計画に地元住民らが反発。人口減社会にあって巨大なハコをいくつも造るような住宅政策や都市計画はおかしいとして、まちづくりの在り方を考

来月3日、住民ら集会

える住民運動を展開している。

今回の集会もその一環で、テーマは「これでもいいのか、超高層乱立のまちづくり」。景観と住環境をまもる全国ネット代表の日置雅晴弁護士が「マンション紛争と現行制度の問題点」と題して講演する。駅前再開発の住民運動を手掛ける「二子玉川の環境を守る会」の代表を招いたパネルディスカッションも実施。住民主体のまちづくり実現へ、課題などを話し合う。

問い合わせは、小杉・丸子まちづくりの会の橋本稔事務局長 ☎044(722)8012。